

日々の田高（東京マイ・タイムライン）

1年生を対象に、東京都総務局総合防災部を通じて、講師をお招きし、「東京マイ・タイムライン」を活用したセミナーを行いました。

マイ・タイムラインは、平成27年9月に発生した、関東・東北豪雨に伴い、鬼怒川の堤防が決壊した際、避難の遅れや、避難者の孤立が発生したことを受け始めた国土交通省の取り組みです。今回は、学校周辺に居住しているとの前提で、次の内容の学習を行いました。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 地域の風水害のリスクを知ること | 2 避難情報や気象情報を知ること |
| 3 より安全な行動を考えること | |

まず、岡山県倉敷市真備町のハザードマップの浸水予想区域と西日本豪雨時の浸水域がほぼ重なっているとの説明や、学校周辺のハザードマップを見て、浸水高、土砂災害のリスクなどを確認し、安全な避難のためのマイ・タイムラインを作るための視点の紹介がありました。

セミナー最後に、大雨時に避難する様子のVR動画が紹介されました。雨の中、時間内に、最善となるルートを選択して避難するのですが、途中で、地下道に入ると、生徒から、「地下はダメだよ地下はー。」という声が漏れたり、「蒲田駅の方はどうなのかな？」という言葉があるなど、身の回りのことと捉える生徒がいました。



私は、以前、関東・東北豪雨の際に、常総市の浸水被害に遭われたお宅のお片付けの手伝いに行きました。このときは、床下の断熱材が水を多く含んでしまい、早めに対処が必要ということで、畳を上げ、床板をはがし、断熱材を取り、床下の泥を掻き出すこととなり、もぐりました。水による被害なのに、水で絞った雑巾などで綺麗にすることが、なんとも言葉にできない感覚がありました。（水色が私です。）

